


特殊器台 総社市宮山遺跡出土



指定区分	国指定重要文化財(考古資料)
読みかた	とくしゆきだい そうじゃしみややまいせきしゆつど
所在地	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
指定年月日	平成5年6月10日
解説	宮山遺跡から出土した埴輪の祖形とされる特殊器台である。高さ約94.5cm。弥生時代の棺として使用されたもので、ほぼ完全な状態で出土した。表面に平行線で連続渦文が表現されている。宮山遺跡は、総社市三輪に所在する弥生後期から古墳時代にかけての墳墓遺跡。
アクセス方法	JR岡山駅から徒歩約25分／路面電車「城下」下車徒歩約10分／岡電バス「後楽園前」下車すぐ
公開状況	岡山県立博物館保管
設備	駐車場は岡山後楽園駐車場を利用。 
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要文化財(考古資料)
ぶんかざいめい (文化財名)	特殊器台 総社市宮山遺跡出土
よみかた	とくしゆきだい そうじゃしみややまいせき しゆつど
しょざいち (所在地)	岡山市北区後楽園 岡山県立博物館
していつひ (指定した日)	平成5年6月10日
せつめい	埴輪(はにわ)のもととなったといわれている土器(どき)です。高さは1メートル近くあります。弥生時代(やよいじだい)の棺(かん)おけとして使われたもので、宮山遺跡という古墳(こふん)から、ほとんどこわれていない状態(じょうたい)で発掘(はくつ)されました。